

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年10月15日	
		作成部署	乙訓土木事務所	
事業名	道路改良事業(向日町停車場線)	構想番号	(土・道活)構 - 19 - 5	
概算事業費	36億円	地区名	京都府向日市寺戸町地内	
事業概要	L = 615 m W = 12 m	事業期間	昭和60年度～平成23年度	
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現道は交通量が多い区間であるが、幅員が狭いため、離合等による低速走行がCO₂の排出量増加の一因となっているため、改善を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車道拡幅により、自動車交通を円滑化し走行速度の向上及び渋滞緩和させることによりCO₂の排出量削減に寄与する。 	
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道には商店や民家が集積しており、騒音を抑止し、沿道環境改善を図る。 ・歩道では、降雨時の歩き易さとともに、地下浸透による水循環への寄与を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車道は高機能舗装とし、水たまりやハネを防止するとともに、自動車走行騒音の低減を図る。 ・歩道は透水性舗装とし、水たまりを防止し、地下への透水を図る。 	
地域個性・文化環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かつての「西国街道」であり、光明寺の参道であった本路線は、向日市の「緑の基本計画」で「歴史と緑の散策の径(みち)ネットワーク」に位置づけられ、気軽に歴史文化に触れ楽しむことのできる環境づくりが求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民、企業の参加・協働によりスポット的な緑地整備や維持管理など緑化整備を支援する。 	
地域の環境像	<p>本事業区間は、向日市中心部の重要な道路であり、商店及び民家が並ぶ市街地であることから、歴史文化との調和に配慮しながら、交通安全や騒音の減少など生活環境の向上を図ることが求められている。</p>			
特記事項	なし			